

# なす

夏野菜の定番ナス。皮にはナスニンというポリフェノール的一种が含まれており、抗酸化作用や眼精疲労に効果があります。近年では、イタリア料理の普及に伴い、国内品種だけでなくゼブラナスなどの西洋品種も出回るようになりました。

## 3月の農作業

平成15年発行：  
JAハリマ「生き生き健康野菜づくり」より

### 作型

連作障害が発生しやすいので、ナス、トマト、ピーマン等ナス科植物の跡地には3～4年作付しない。接ぎ木苗が望ましい。(土壌伝染性の病気を回避できる。)更新剪定により10月下旬頃まで収穫できる。水ナス、米ナスは晩霜の恐れがなくなってから、植え付ける。普通ナスより多肥にする。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春植え			○	△		■	■	■	■	■	■	■	千両二号、黒陽、筑陽、兵庫長ナス

○：種まき △：植え付け ■：収穫

### 畑の準備・定植

<b>土づくり aあたり</b>	
堆肥	400kg
セルカ(有機石灰)	15kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
<b>元肥 aあたり</b>	
醗酵鶏糞	50kg
野菜専用肥料	10kg
畝立時施用	

- 1条植え：畝幅1.5m
- 株間50～60cm
- 本葉5～6枚の苗を植えた所がやや高めになるよう植え付ける。
- 深植えは禁物



### 整枝・摘果

- 主枝と第1果房付近の側枝3本を伸ばし、4本仕立てとする。
- 側枝は第1果房の上に葉1枚残して、摘心する。
- 収穫後は、切り戻し剪定をする。

#### 更新剪定

7月下旬に主枝と側枝の茎部から2～3芽残して切り取り、追肥を行う。(野菜専用肥料5～7kg/a) 収穫がとだえないように、半分ずつ切ると良い。約30日後、新枝から収穫できる。



### 追肥・敷きわら

- 収穫が始まった頃から20日ごとに追肥する。(追肥の量：それぞれ野菜専用肥料5kg/a)
- 敷きわらは梅雨明け頃から厚く敷く。

### 防除

病害虫名	耕種防除	薬 剤	防 除
疫病・褐紋病	連作を避ける。通風を良くする 窒素の多施用を避ける		
褐色腐敗病	窒素の多施用を避ける 通風を良くする。マルチ栽培		
うどんこ病	湿気を避け、換気を良くする	アミスター20フロアブル ダコニール1000	2,000倍 1,000倍 前日まで4回以内 前日まで4回以内
ハダニ類	周辺雑草を防除する	カスケード乳剤	2,000倍 前日まで4回以内
アブラムシ類	光反射テープや光反射マルチを利用する	スミチオン乳剤	1,000～2,000倍 3日前まで5回以内

### 収穫

- 実が大きくなったものから順次収穫する。(若どりを行い草勢低下を防ぐと、収穫期間が長くなる。)

裏面はにらを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.323 平成30年3月13日発行

にらはとても強く栽培がしやすい野菜で、刈り取ってもその後から新しい葉が伸び、年に3回位は収穫が可能です。収穫後も株のまま冬を越し、次の年にも収穫できます。株が大きくなるので、株分けを行うと数年収穫が続けられます。

平成15年発行：  
JAハリマ「生き生き健康野菜づくり」より

## 作型

一度植え付けると、3～4年間収穫できる。大きな株になってから株分けすると、どんどん増える。とう立ちは株が弱まるので早目に取り除く。低温期に収穫する場合は、ビニールトンネルで被覆する。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春まき (夏秋植)			○	○	△				△				グリーンベルト、 テンドーポール(花にら)
			■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■										

○：種まき    △：植え付け    ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■：収穫

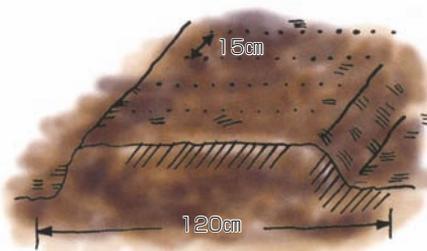
## 畑の準備・定植

<b>土づくり a当たり</b>	
堆肥	400kg
セルカ(有機石灰)	15kg
植え付け15日前頃に土と良く混合	
<b>元肥 a当たり</b>	
醗酵鶏糞	20kg
畝立時施用	

- 畝幅：  
80～100cm
- 株間：  
5～10cm

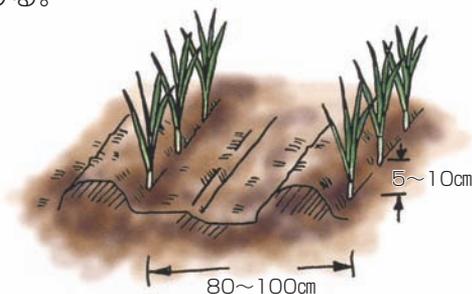
## 苗づくり(すじまきにする)

- 草丈10cmの頃に株間1cmに間引く。



## 植え付け

- 草丈20～25cm位の根張りの良いものを植え付ける。



## 土寄せ

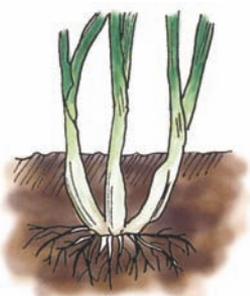
- 植え付け後20日ごとに2～3回程度土寄せする。

## 防除

病害虫名	薬 剤	防 除
さび病	ストロビーフロアブル	3,000倍 前日まで3回以内
アブラムシ類	ダントツ水溶剤	2,000～4,000倍 3日前まで3回以内

## 株分け

- 3年目頃の9月に株を掘り上げ2～3株ずつに分けて植え付ける。



## 収穫

- 草丈25cm位になると株元から2～3cm上で刈り取る。
- その後20日前後おきに4回程収穫する。
- 収穫毎に追肥(油粕5～7kg/a)する。
- 8月になると、とう立ちするので早めに摘み取る。
- 花が開かないうちに取れば、花にらとして利用できる。

